



しののめYMCAC子ども園 園だより

2024年度 7月号

発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

7月聖句 隣人を自分のように愛しなさい。

マルコによる福音書 12章 31節

東京の梅雨入りが例年よりも二週間ほど遅く発表されました。日本列島のあちらこちらで線状降水帯が発生し災害をもたらしています。これからは雨模様と湿度の高い日々が続きます。夏の高温多湿の季節に向けて準備の時期です。この時期にゆっくりと体を慣らしていきましょう。

6月に入り日差しが強くなってきました。乳児部のこどもたちも幼児部のこどもたちも砂場では直射日光を受けながら夢中になって遊んでいます。熱中症対策として真っ赤なテントを設置しました。また乳児部のこどもたちは幼児部のこどもたちが登園する前、まだ気温が上がっていない9時ころから園庭遊びを始めています。そして幼児部のこどもたちも登園後に園庭遊びをするようにしています。少しでもベストコンディションで遊ぶことができるように心掛けています。

砂場の上のテントのくぼみにはたくさんの雨水が溜まっていた。その雨水を保育者が棒で突つくと滝のように雨水が降ってきました。こどもたちの動きが止まり、驚きの顔をしていました。また他のくぼみを少しずつ押すと水道の蛇口から水が出るように降ってきました。こどもたちは降ってくる水に向かって歩き出し手を差し出し触っていました。他のこどもはコップを持ってきて水を受け止めていました。全てが初めての体験でしょう。真剣な眼差しから笑顔に変化していきます。水に触れた時の感触、手やコップから撥ね返る水しぶきの感触、コップに入っていく水の感触などなど、小さな体いっぱい体験をしています。お天気の変化にあったようにこどもたちの遊ぶ様子も多様な変化が見られます。やってみようという気持ちから行動に移し、多くのことを感じ学びます。そしてそばには保育者が寄り添い、「冷たいね」「上手にコップに入ったね」「大丈夫だよ」「すごいね」などと言葉を掛け、こどもたちの感じ得たことを包み込み、自信へと変わっています。

3週間に渡り親子礼拝の行事を行いました。先生方からのメッセージはいかがでしたか。こどもたちの素敵な歌のプレゼントと制作物はいかがでしたでしょうか。保護者の方々には今のこどもたちの姿を見ていただくことができたことでしょうか。ひとり一人の成長のスピードは違います。周りのこどもたちと比べることなく、ひとり一人の今を認めてあげてください。次の親子礼拝は2月です。大きく飛躍していると思います。

常にこどもたちを中心に考えた保育運営をして参ります。ご理解とご協力をお願い致します。